

2024年4月12日 第3465回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 藤村 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *学校法人横須賀学院 院長 川名 稔 様

*青少年交換留学生 Ohia-Yuan WEN(Sam) 君

<ビジター紹介> *横須賀西ロータリークラブ 直前会長 和田 光弘 様

<会長報告> *ガバナー事務所から

・台湾東部地震への支援金依頼について

・青少年交換 派遣候補生・来日学生合同オリエンテーションのお知らせ

5月11日(土)14:00~16:00(予定) 会場:第一相澤ビル6F「会議室」

・次年度向け会員増強セミナー開催のご案内

5月19日(日)13:30~15:30 会場:第一相澤ビル8F「会議室」

・三浦按針観桜会出席報告 4月8日(月) 会場:塚山公園

<委員長報告> *角井会員から

第36回全国ローターアクト研修会 山形大会 報告(3月23日・24日)

*デジタル委員会木村委員長から

マイロータリー登録増強に関するアンケートについて

<青少年交換留学生スピーチ> *Ohia-Yuan WEN(Sam) 君

<幹事報告> *三浦RCから60周年記念誌 受領

*台湾東部地震への支援金集計報告(91,000円)

*4月26日(金)例会「地区研修・協議会報告」について

*横須賀西RC和田会員からIM集合写真およびDVD 受領

*例会終了後 地区研修・協議会 全体説明会開催(例会場)

<出席報告> *出席委員会 加賀本副委員長から4月12日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
117名	108名	82名(4名)	26名	5名	80.56%

メイクアップ:兼城会員 被選理事役員会出席

齋藤(眞)、鈴木(孝)、中村(清)、山下各会員 IM出席

<ニコニコ報告>

・和田 光弘 様(横須賀西RC)久しぶりに来ました。先日はIM良かったですね!

・三 役 青少年交換学生 Chia Yuan WEN (Sam) 君ようこそ。

・八 巻、松 岡、徳 永、小山 陽、寺 田、前 川、柴 田 各会員

青少年交換就学生 Chia Yuan WEN (Sam) 君ようこそいらっしゃいました。例会をお楽しみください。

・第1グループ岡田ガバナー補佐、鈴木(剛)ガバナー補佐付幹事 横須賀西RC和田光弘様、IMでは大変お世話になりました。集合写真ありがとうございます。地区協の写真も宜しく願い致します。

・三 役 横須賀西RC 和田光弘様ようこそ横須賀RCへ。楽しんでください。

・飯 塚、八 巻、新倉(剛) 各会員 横須賀西RC直前会長 和田光弘様ようこそいらっしゃいました。

・若麻績、新倉(剛)、三 堀 各会員 誕生月祝いとして

・植 田、岩 崎、若麻績 各会員 入会月祝いとして

・三 役 次年度地区米山委員会委員長 齋藤秀人会員卓話よろしくお願ひいたします。

・大 石、椿、比 護、苅 山、植 田、永 井、波 島、森、田 中、権 田、萩 原、
八 巻、小 澤、福 西、前 田、南、加賀本、小 平、杉 浦、物 井、若麻績、

江口、松本 圃、瀬戸、谷、田邊、濱田、澤田、三堀、野坂、前川、鈴木 圃、岡田 圃、岩崎、小山 圃、小林 (-)、鈴木 圃、梁井 各会員

次年度地区米山委員会委員長 齋藤秀人会員、急遽ピンチヒッターで大変かと思いますが、「米山」に対する熱い想いを聞けることを楽しみにしています。よろしく願いいたします。

- ・三 役 梶木洋平会員入会おめでとうございます。これからよろしく願いします。
- ・石田、木村、八巻、大野 圃、勝見、小林 圃、杉浦、長尾、上林、新倉 圃、濱田、渡邊、角井 各会員
梶木洋平会員 横須賀ロータリークラブへの入会おめでとうございます。共にロータリーライフを楽しみましょう！
- ・梶木 会員 本日より入会させて頂く野村證券横須賀支店の梶木と申します。今後ともよろしく願いいたします。
- ・加藤 圃、椿、波島、竹株、八巻、高橋、渡辺、加賀本、臼井、齋藤 圃、濱田、鈴木 圃、浅葉、齋藤 圃、八木 各会員
4月17日(水)から「神奈川版ライドシェア」の実証実験がスタートしました。八木会員のいづみタクシーが運行と車両整備の管理を行っています。さすが八木理事。職業奉仕の精神すばらしいです！

<卓 話> 第2回情報集会「米山地区活動と現状」

次年度地区米山委員会 委員長 齋藤 秀 人 会員

次年度地区米山委員長を仰せつかりました齋藤でございます。

本日の情報集会は、元R I 理事でロータリー米山記念奨学会名誉理事長の小沢会員からお話をいただくということでしたが、所要により変更となりました。なんで齋藤なのだという目で見られていて、プレッシャーを感じております。なかなか準備もできておりませんが、ご容赦のほどよろしくお願いいたします。

4月21日に地区研修・協議会(以下、「地区協」)が県立保健福祉大学であります。その時に米山奨学部門の分科会があります。そのために準備をしていた資料も使いながらお話をさせていただきたいと思っております。今日の目的は、地区での米山の事業をご理解いただくということ、そして最終的には、寄付をお願いしていることについて、なぜこれだけのお金が必要なのかといったところも含めて、簡単にご説明したいと思っております。

これは、4月21日に地区協の分科会でお話しさせていただく予定のパワーポイントのレジュメ画面となっております。

(予行練習もかねて)地区協どおりにやらさせていただきますと、まず自己紹介からです。既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、名前は齋藤秀人で、57歳でございます。横須賀ロータリークラブに入会させていただきましたのが2007(平成19)年で、16年前でございます。現在は當間委員長のもとで地区のローターアクト委員会で副委員長を務めさせていただいております。また、次年度は当クラブの角井会員が委員長ということで、しっかり引き継いでいきたいと思っております。



米山の経験は、2019(平成元)年から2023(令和5)年までの4年間を地区の米山委員会に出向させていただいております。今年は地区のローターアクト委員会に出て、そしてまた米山に戻るといような流れになっております。

過去5年間の米山の事業として、この2780地区でお世話している奨学生の推移について見ていただくと、30名ちょっとといったところで、2020(令和2)年から2024(令和6)年までとなっております。

ちなみに、2024(令和6)年4月からは、32名の奨学生を1年間お世話するとことになります。内訳は、新規の奨学生が25名、継続生というのは2年目の奨学生です。そして海外応募は、イギリスから31名で、合計の32名を今年お世話するということになります。国の分布と言いますか内訳ですが、中国、韓国、台湾、インド、イギリス、モンゴル、インドネシア、ネパール、ベトナムでございます。

今年は神奈川歯科大学が7名ほどお申し込み、面接を受けて7名合格ということは、初めてではないかと思っております。前回この例会にも来られた韓国のキム・ハンギョンさんが神奈川歯科大学ということで、1年間齋藤眞且カウンセラーのもとでお世話させていただくことが決定しております。国別ですが、中国17名、韓国5名、台湾3名、あとはインドネシア、ネパール、インド、モンゴル、ベトナム、イギリスという形になっております。ここで気がつくのが、やはり中国が非常に多いということでございます。偏りを少しでも分散させようということで、地区の方でもいろいろと試行錯誤しているのですが、やはり大学の方の分母といいいますか、中国の学生が非常に多いということと、非常に優秀な学生が多いということで、試験も高得点を取られるので落とす理由がないという部分もあります。また、地区としても、政治やイデオロギーで差別することはできませんので、必然的に中国が5割から6割ぐらいの人員の構成になっているといったところなんです。今年も1月14日(日)に地区面接を行いました。36名ほどの申し込みがございまして、新規の奨学生が25名ということですから、10名程度が落選ということになりました。競争率は3倍ということになりましたが、大学からの推薦に際しては、大学でも面接などによる選考を行っているので、大学から推薦してもらえないという学生さんもいますので、米山奨学会に入ることは、かなりの狭き門といったところであります。

どうやってカウンセラーの割当を決めるのかといったところですが、まず合格した32名に何曜日の例会だったら出れるかということを出してもらいます。「金曜日なら出られる」そして神奈川歯科大学となれば横須賀に必ず来るということになると思います。基本的には2年に1回くらいカウンセラーをお願いするようなパターンになるのですが、横須賀はカウンセラーが毎年必ずお世話をしているという形になっております。地域性もありますので、遠いとなかなか学生も通えないということで、何曜日と何曜日ということである程度出してもらい、それに合うクラブの例会の日と地域とが連続になっていないクラブをお願いするような形で決定しているということになります。

合格基準は、勉強への意欲があるのが一番でありますし、原則として日本語が話せる人というか、日本語をよく勉強されている方を基本にしております。そして、日本語での表現がしっかりしていて、やる気がある卒業した後、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは学業に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、異文化理解やコミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点が含まれます。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

そして、4月にはオリエンテーションを行います。4月7日の日曜日にオリエンテーションが実施されました。先ほどお話ししましたキム・ハンギョンさんと齋藤眞且カウンセラーとが初めてここでお会いすることになるので、32名の奨学生とカウンセラーさんと呼んで、そこで話し合いコミュニケーションを取ることが、4月に行われるオリエンテーションであります。

そして、毎年5月は同窓会を行います。米山奨学生は基本的に1年で卒業して、その後自動的に学友になります。学友になるといろいろな活動に参加してもらえますし、同窓会を1年に1回開いて世界各国に散らばった学友とZoomでつないでコミュニケーションを図るということで、米山親善大使といわれる元奨学生の方が卓話者になります。李昭宏さんの時は鎌倉の光明寺に来ていただき、Zoomもつないで世界とのコミュニケーションをとるといった同窓会を行ったということでございます。光明寺さんの山門の上に特別に大勢で登らせていただき写真を撮ったり、本堂の中にテーブルを並べてグループディスカッションしたり、そしてZoomで世界とつなげるということを1年に1回、5月に実施しております。今年も5月に同

窓会を実施する予定であります。5月12日(日)13時受付ということで、鎌倉商工会議所の150名収容のホールで米山梅吉記念会館の市川麻里さんというすごく上手な語りで館内を説明してくれる方に卓話をお願いして、ここで同窓会を開きます。出席者は米山奨学生、学友はもちろんですが、現カウンセラーの方のみならず、過去にカウンセラーを経験された方も、鎌倉で実施される4回目となるこの同窓会に参加していただければと思います。そして毎年6月に現次米山委員会で引継を行います。今年も6月27日(木)に鎌倉パークホテルで行います。

そして7月になりますと、次年度のための指定校、指定の学校の先生への米山奨学に関する説明会を行います。先ほど申し上げましたとおり、国の偏りとか幅広い各大学から平等に推薦していただきたいということで、そのような説明を中心に行っているということであります。そして、学友会でも必ず総会を開いて収支の報告や、いろいろな活動の計画を出しております。ちなみに、今年4月27日(土)は横浜のカップヌードルミュージアムを視察して、中華街で懇親会を開くということを学友自らの計画で実施することになっております。ロータリアンの方には是非ご参加いただきたいと思っております。

そして、カウンセラーになられた方には、カウンセラー研修会というものが用意されてございます。こちらに出てカウンセラーの勉強をしていただくということでありますが、私もこの研修会で話をさせていただくことがあるのですが、来られた方が当クラブの佐久間会員をはじめとして、何回もカウンセラーを経験されているものすごい先輩方に私が何を教えるのだというところで、非常にやりにくく感じる8月であります。

そして、秋口の9月から初冬の11月までは、片瀬海岸や平塚の海岸でのクリーンキャンペーンを行います。これはゴミを拾うということももちろんなのですが、海の家で奨学生とロータリアンとでバーベキューを行ったりします。数年はコロナ禍でできなかったのですが、今年はまた実施しようということで計画しております。平塚で行った時の米山クリーンキャンペーンでは、釣り船をチャーターして、これに乗って鳥帽子岩(姥島)まで行くというようなイベントも行いました。結構波が高くてみんな船酔いになってしまったのですが、なかなか楽しい企画も用意されています。

9月は米山梅吉翁のお墓参りをさせていただくということと、三島大社などに行って参拝するというようなことを企画しております。以前は一泊で行っていたのですが、コロナ禍においては、やはり日帰りということで、三島のみかん園に行ってみかん狩りをしました。

そして、米山事業はすごくやる事が多くて、担当教諭と今度はまたお酒を飲むというか懇親を深めるといことで、前回は確か8名ぐらいの学校の先生、ご担当の方が来られてぜひ多くの方を推薦していただきたいということで、コミュニケーションを図っているということでございます。

地区大会の方では10月開催ということですが、新世代交流会といったところがメインとなっております。世界各国のお茶を用意して振る舞うというサービスが、この地区大会で行われているということです。さらに国際交流会というものがあります。これは小田原の隣の二宮町でやるのですが、世界中の奨学生、学友の国の料理をその場で作っていただいて、それをみんなで食べるというような企画でございます。このようなものも行っているということです。そして終了式を来年の2月16日に行います。このような予定で1年間を駆け抜けるということになります。まだまだお話ししたいことはあるのですが、続きは地区協でお話ししたいと思います。

最後に1つだけ寄付についてお話しさせていただきます。今年は累計値で前年度に比べて100万円くらいショートしているというのが寄付の現状ということであります。それとホームページを見ていただいた方は、この第2780地区での1人平均の寄付額は16,200円になっています。目標は2万円ですので、ちょっとショートしているのですが、全地区の中では9位ということです。1位が愛知でございます。愛知は1人当たりの個人寄付が35,000円ということで非常に高くなっています。下の方では、4,000円とか5,000円ぐらいです。当地区は16,200円ということで、もうひと頑張りです。2万円に届くということですので、ぜひともよろしくお話ししたいと思います。

以上でございますが、なにぶんにも突然の要請を受けたため準備も行き届かず、雑駁な卓話となりましたが、ご容赦いただきたく存じます。ご清聴いただき、どうもありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 南 裕 貴